

交通バリアフリー教室 in 水戸市立新荘小学校

茨城運輸支局では、令和7年9月16日（火）に水戸市立新荘小学校の3, 4年生61名を対象に「交通バリアフリー教室」を開催しました。当日は、茨城交通株式会社のノンステップバスを使用して、車いすや高齢者疑似体験セットを使った乗降・介助体験を実施しました。体験を通じて、車いすを使用している方や高齢者の方の大変さと手助けする大切さを学びました。

【開催概要】

- 日 時：令和7年9月16日（火）10:00～11:40
- 場 所：水戸市立新荘小学校
- 参加者：3, 4年生 61名
- 主 催：茨城運輸支局、水戸市
- 協 力：(公社)茨城県地方自治研究センター 研究員 有賀絵理氏〔講師〕、
(一社)茨城県バス協会、茨城交通(株)

【プログラム】

- オリエンテーション
- 車いす体験／介助体験
- 高齢者疑似体験／介助体験
- まとめ
(体験してわかったこと、難しかったこと、良かったこと)



参加者の感想

- ・お手伝いする人はとても大切な役割をしているのが理解できた。
- ・介助が必要な人がいる時は「お手伝いしますか。」と言えるように準備してバスに乗りたい。
- ・高齢者体験では、普段は乗り降りが簡単ですが転んだりしたらどうしようと不安になりました。
- ・車いすの方と高齢者の方がいる時はお手伝いをしたい。
- ・車いす体験では、お手伝いしてもらって安心した。
- ・車いすの方はたくさんの人の協力が必要と知りました。
- ・車いすですバスに乗るときより降りる時がこわかった。
- ・車いすを押すとあまり安定しないので、お手伝いが必要と思った。
- ・助け合うのが大事と思った。
- ・運転手さんが汗を流しながら働いていることがわかった。